

箇所名	登戸	事業所管部局	建設省都市局区画整理課
補助事業名	土地区画整理事業費補助（公共団体）	事業担当局	まちづくり局区画整理課
箇所名	登戸 3 号線	認可・承認等年度	昭和 62 年度
補助事業名	地方道路整備事業臨時交付金	該当条項	第 3 の 2
事業採択年度	着手年度 昭和 63 年度	関連事業名	1 都市計画道路世田谷・町田線拡幅事業 2 川崎市公共下水道事業 3 JR 登戸駅南北自由通路設置事業 4 小田急小田原線複々線化事業 5 北部医療施設の建設
経過年数	11 年		
完了予定年度	15 年度		
事業の目的概要課題	事業目的 土地区画整理事業により、都市計画道路等の公共施設の整備及び総合的な土地利用を図り、川崎市の副都心機能の確立並びに多摩区の生活の中心拠点として商業・業務・住宅等の機能の集積を図るとともに、健全な市街地を形成する。	事業採択時の背景・及び契機 当地区は、早くから市街地を形成しており、道路等の公共施設整備が遅れ、下水道も未整備であったため、災害に弱く、衛生的にも大きな問題を抱えていた。	
	事業内容 登戸地区を土地区画整理事業により、公共施設等の整備空間及び宅地整備を行い、副都心としてふさわしい都市空間の形成を図る。 土地区画整理事業施行地区面積 37.2ha 都市計画道路 6 路線 2,361m 区画道路等 9,444m 駅前広場 2 箇所 10,000m 公園 3 箇所 6,500m	事業採択（着工、未着手）から基準年を経過している主な理由 既成市街地における事業であり、移転対象建築物が、1,358 棟にのぼり、既存の建築物等を順次移転させながら道路等公共施設を整備していく事業であること。 また、権利関係が輻輳しているため、権利者との移転交渉に多大な時間を要していること。	
	事業費規模（単位：百万円） 全体事業費 61,000 （うち国庫補助金 14,962） 残事業費 49,471	現状の課題 ・財源の確保 ・基盤整備に伴う用途地域の変更、地区計画の策定等 ・JR 及び小田急電鉄との事業施行に伴う調整	

評価の概要	<p>社会経済状況等 上位計画、周辺人口、社会状況等に特段の変化はない。</p> <p>地元の理解・協力の状況 事業の進捗がかなり目に見えるようになってきたため、事業に対する理解も概ね得られている。また、地元の権利者組織からも事業の推進を要望されている。</p> <p>事業の効果 2ヶ所の駅前交通広場整備による多摩区の生活拠点としての機能強化と安全な市街地の形成が図れる。</p>
-------	---

再評価への考え方	<p>当地区の川崎市総合計画 2010 プランにおける副都心の位置付けに変更はない。</p> <p>また、当地区は、JR 南武線、小田急線の交通結節点であり、土地区画整理事業により 2ヶ所の駅前広場を整備する計画になっている。これらの交通広場の完成により、バス利用者の利便性が大幅に向上し、多摩区の生活中心拠点としての機能が一層強化されることになる。</p> <p>さらに、阪神淡路大震災以降、密集市街地の安全性確保の緊急性がいつそう強く認識されてきていることから、密集の既成市街地における当地区の事業の必要性はますます強くなっている。</p>
----------	--

対応方針案	<p>対応方針案（継続、中止、休止）</p> <p>対応方針案の考え方 土地区画整理事業の施行を前提に生活設計を考えている権利者への影響及び既に建築物の移転を実施しており、土地区画整理事業を中止できない状況にある。 事業計画上、15 年度完成となっているが、完成年度も含め、事業計画変更等を検討中。 国庫補助金の導入拡大等、事業財源の確保に努める。</p>
-------	---